



瀬戸内インター店（2023年11月開店）

- 本社所在地：岡山県岡山市
- 事業概要：食品スーパー11店舗運営
- 常時使用する従業員：397名
（2025年2月時点）
- 現在の売上高：81億円
（2025年2月期）
- 法人番号：2260001007545
- Web：
<https://watanabeseisenkan.com>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
松田 欣也

生鮮に特化し、とびっきりの生鮮と平日に使いやすい店舗を提供します。

当社は岡山県南エリアに11店舗を展開する地域のスーパーです。地域ニーズに合った商品を手頃に提供するの元より、地域との絆を大切にして、地域コミュニティや地域取引の活性化に積極的に取り組み、地域の方々と地域の取引先様が集まる磁場となる「地場(磁場)わたなべ生鮮館」が地元資本のスーパーである当社の役割です。

高齢者や共働き世帯の増加、EC市場の発達、他業態店舗の食品の取扱い開始等、ライフスタイルや地域を取り巻く環境が大きく変化しています。当社は生鮮にこだわると共に、地域のお客様の利便性向上に最大限に努め、とびっきりの生鮮と平日の使いやすさを提供いたします。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

強みである生鮮に特化し、2030年度売上高100億円達成を目指します。
DX化とデジタルツール活用により付加価値業務に業務シフトを図り労働生産性を向上させると同時に賃上げに積極的に取り組み、社員の働きがいと生活の豊かさを向上させます。

課題

- ・ 鮮魚商品の顧客PR
- ・ 青果、精肉の差別化と鮮度向上
- ・ 惣菜の商品力向上、ロス率の低下
- ・ 日配・ドライ商品のSKUの絞込み
- ・ お客様ニーズに対応した小回りの利いた品揃え
- ・ 人手に依存した非効率な店舗運営と業務品質の標準化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・ 仕入方法の変更、バックルーム変更による鮮度向上
- ・ 地域取引割合増加による、鮮度向上と地域貢献
- ・ 惣菜商品のインスタ化と商品開発
- ・ 滞在時間短縮ニーズ対応（棚配置、動線、店舗受取サービス等）
- ・ デジタル設備・ツールによる効率的な店舗運営と業務標準化
- ・ デジタルツール活用による、ニーズ把握と時間別品揃え

実施体制

- ・ 地場産地開発、ブランディング開発の部署の新設
- ・ 顧客データ管理、販売促進の専担者の設置
- ・ グループ企業、外部システム会社によるデジタル業務オペレーションの研修と業務指導
- ・ 店舗開発部の設置